

令和4年度 学校経営方針

校長

1 学校教育目標

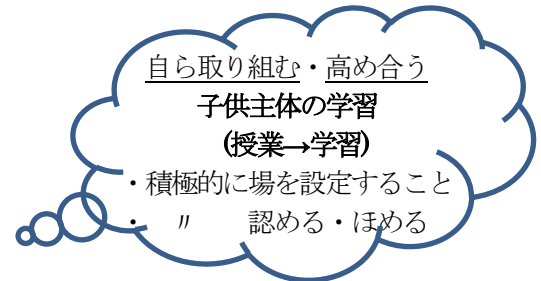
(平成12年4月1日制定)

- ・きたえる子 ・学ぶ子 ・思いやる子

2 重点教育目標

(1) 重点教育目標

「八雲の地で **自ら**取り組み、友と**高めあえる**子の育成」



(2) 継続の理由

- 小中一貫型コミュニティ・スクールとして、八雲の学習素材や地域人材を活用する教育課程を編成し、適正に実施・評価・改善しながら「目指す15歳の姿」に迫らなければならない。
- 子供たちの学びを「今ある力」「今の場所」から始め、資質・能力を同心円に伸長させ、確かな学力を身につけさせるとともに人間としての豊かな心を育むことが必要である
- 「令和の日本型学校教育」における「子供の学び」の姿として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められている。

3 めざす子どもの姿

・自分大好き 友だち大好き

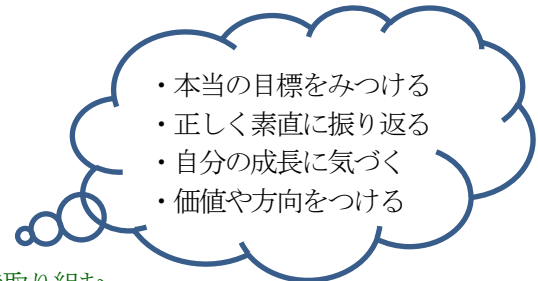
… 自分や友達のよさや可能性に気づき ともに活動する

・勉強大好き 運動大好き

… 勉強や運動が自分に必要であることに気づき 進んで取り組む

・学校大好き 八雲大好き

… 学校やこの町で成長していくことに気づき 元気に生活する



4 学校経営の方針・経営や指導の重点

児童(子供)も教職員(大人)も ここからチャレンジ

児童が成長するためには、私たち教職員の成長が必要である。児童の資質・能力を育むため、私たち教職員自身が、働き方改革を意識しながら資質・能力を高める1年にしたい。児童も教職員も「今ある力」を起点に、現在の状況や実態、および環境から一歩ずつチャレンジを始めていく。

(1) 研修活動の充実

令和の日本型学校教育や八雲町が目指す「八雲スタイル」を実現するため、必要となる研修や講座を各分掌や教職員の声を聴きながら整理し、実施していく。

- ・読み解く力の確実な育成 (重点) …八雲町確かな学び推進会議の推進計画に合わせる
- ・ICT活用力の向上 (重点) …〃
- ・学力や体力の向上
- ・児童理解、教育相談等、生徒指導力の向上
- ・特別支援教育に関すること
- ・働き方改革の推進
- ・危機管理や服務規律に関すること など

(2) 学校力を安定させる仕組みづくり

特別委員会を機能させ、各分掌や学年が抱える課題を整理・解決することで円滑な学校運営をめざす。

- ・企画運営委員会
- ・児童対策委員会
- ・予算委員会
- ・いじめの防止等対策委員会
- ・修学旅行等検討委員会
- ・メンター制度

(3) 子供の命や健康を守る危機管理

「命や健康」を最優先に考え、迅速で的確な判断と正しい行動がとれるように危機管理体制を整えていく。

- ①新型コロナウイルス感染症の対策、適切な対応
- ②継続的に見直しを図ってきた危機管理
 - ・交通事故 ・火事 ・地震、津波 ・不審者 ・食物アレルギー、給食異物混入
- ③教育活動下の事故防止

(4) 学ぶ楽しさを実感させる授業改善

教える授業から主体的に学ぶ学習へ、指導者の授業観を変える必要がある。授業の主体は児童であり、教師ではない。だから「振り返り」が必要となり、児童が小さな成長を感じられるような学習を提供しなければならぬ。

- ・統一感のある学習指導過程（個別→集団→個別の思考過程）および学習規律
- ・読解力の向上、1人1台情報端末の積極的活用等、「八雲スタイル」を意識した学習展開（重点）
- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・算数指導工夫改善、少人数指導
- ・外国語、体育における専科指導

(5) 学年経営案によるカリキュラム・マネジメントの推進

学習指導要領は「コンテンツ（内容・中身）」から「コンピテンシー（資質・能力）」ベースに移行したが、各教科の単元名（コンテンツ）や学校行事を並べた学年経営案を作成することは重要である。

- ・4つのステージ「がっちり」「わくわく」「じっくり」「しっかり」を絵にかいた餅にしない
- ・各教科で身に付けた見方や考え方を横断的・総合的につなげる
- ・個々が身に付け資質・能力を「総合的な学習の時間」の探究活動で発揮させる

(6) 多様な教育的ニーズに対応する特別支援教育

特別な支援を要する児童を深く理解し全体で情報共有するとともに、個々の実態に応じた支援に努める。

- ・日常の観察や記録
- ・保護者懇談、教育相談
- ・スクールカウンセラー等による教育相談
- ・校内教育支援委員会
- ・生徒指導事例研

(7) 児童理解を深める教育相談の実施

全児童を対象に教育相談を実施し、個々の理解を深める機会とする。また、児童に「相談することの大切さ」を伝えるとともに、児童と担任が信頼関係を築く契機につなげる。養護教諭や管理職、スクールカウンセラーなど、相談相手を変更して実施することも積極的に検討する。

- ・相談週間（定期相談…悉皆）
- ・いじめ、トラブル相談
- ・長期休業前相談
- ・リクエスト相談

(8) ワーク・ライフ・バランスの実現

「仕事」と育児や介護、趣味や自己啓発、地域活動などの「仕事以外の生活」の調和をとり、その両方を充実させる働き方をめざす必要がある。

- ・月2回の一斉退勤日 年2回の定時退勤週間の設定
- ・年次休暇、特別休暇の積極的取得
- ・働き方改革推進チーム「HK T42」の活動

5 年度の主な取組

(1) 確かな学力の定着 (知)

- ア. 学習の約束の徹底
 - ・学習の約束の確認 ・「よくわかる八雲小」の活用
 - ・スタートカリキュラムの確認
- イ. くり返し学習の推進
 - ・放課後学習、朝学習、補充学習等の充実
 - ・チャレンジテスト結果の有効活用
- ウ. 基礎・基本の確実な定着
- エ. 学力調査等の分析と活用
 - ・専科や少人数指導による指導の充実・カリキュラムマネジメント
 - ・分析、課題の洗い出しと指導法へのフィードバック
- オ. 主体的・対話的で深い学び
 - ・校内研修における指導法の定着
- カ. 特別支援への理解と共有
 - ・分掌及びコーディネーターによる学習機会と関係機関との連携
- キ. ICT とプログラミング教育
 - ・ICT 機器の積極的活用、活用に関する研修・情報交流

(2) 豊かな人間性の育成 (徳)

- ア. 安定した学級経営
 - ・学び合う、認め合う支持的風土の醸成と統一感ある指導方法
- イ. 道徳教育の充実
 - ・CS 共通重点項目を意識した指導
 - ・道徳の授業改善、授業の公開 ・年間指導計画の工夫、改善
- ウ. 積極的生徒指導の充実
- エ. 基本的生活習慣の定着
 - ・調査等を活用したいじめ撲滅や自己存在感有用感の醸成
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発、推進
 - ・あいさつ運動の充実 ・メディア利用時間の短縮
- オ. 文化活動の充実
 - ・朝読書、読書活動の充実 ・家読 10 分

(3) 健やかな身体の育成 (体)

- ア. 体育的活動の充実
 - ・体育の時間の運動量確保 ・新体力テスト全校 2 回実施
 - ・運動会、遠足、水泳学習、スキー学習への取組 ・運動の日常化
 - ・体育専科を中心とした教員の指導力向上
- イ. 安心・安全な学校生活
 - ・校内危険箇所点検 ・安全マニュアルの見直し ・通学路安全点検
 - ・避難訓練、聞き取り訓練、交通安全教室、防犯教室等の実施
 - ・対応フローチャートの見直しと常時掲示
- ウ. 健康教育と食育の推進
- エ. 感染症の予防
 - ・養護教諭や栄養教諭の T T 指導 ・外部人材の積極的利用
 - ・各種ウイルス、インフルエンザ等の予防 ・発生時の対応の確認
- オ. 異学年交流
 - ・給食交流会 ・高学年と低学年の交流清掃 (感染状況による)
- カ. 救急法の教職員研修
 - ・AED、エピペン使用、アレルギーのための情報共有と研修 (今年度は実施せず)
- キ. 性に関する特別授業
 - ・外部講師を招いて実施

6 学校教育目標・重点教育目標の検証

- ・「全国学力・学習状況調査」、「全国体力・運動能力運動習慣等調査」数値結果の分析
- ・「NRT」「知能検査」数値結果のクロス分析
- ・「北海道チャレンジテスト」「単元テスト」数値結果の分析
- ・「児童アンケート」、「保護者アンケート」、「職員アンケート」の数値分析
- ・学級担任による児童観察

《きたえる子》 身体をつくる

自分の体力や運動能力、健康の状況を知り、自ら向上するよう継続的に努力する

- ・児童アンケート「体育が好き」と答える児童が 85%以上
- ・児童アンケート「休み時間の好きな遊びは運動遊び」と答える児童が 85%以上
- ・(全国体力の数値目標…育成部と相談)

《学ぶ子》 学びをつくる

全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する

- ・児童アンケートから (学力向上部と相談)
- ・児童アンケートから ()
- ・全国学力学習状況調査、学力検査の正答率の向上 (平均を目指す)

- ・北海道チャレンジテスト、渡島管内の平均正答率を上回る
- ・算数の単元テスト 正答率85%以上
- ・家庭学習「学年×10分」を達成している児童80%

《思いやる子》 心をつくる

相手を認め、思いやりをもって行動できる

- ・児童アンケート「学校が楽しい」を95%以上
- ・いじめアンケート「いじめは許されない」を95%以上
- ・月別生活目標の振り返り「他人への思いやり、親切」肯定的回答を95%以上にする。
- ・質問紙調査「人が困っているときは、進んで助けている」 肯定回答が全国平均

《その他》 めざす子供の姿

- ・質問紙調査「自分にはよいところがある」
- ・ 「 「将来の夢や目標を持っている」
- ・ 「 「今住んでいる地域の行事に参加している」
- ・質問紙調査「国語の勉強は好きだ」 肯定回答が全国平均以上
- ・ 「 「算数の勉強は好きだ」 肯定回答が全国平均以上

7 最後に

- あいさつの実行は、まず職員から
- 子供一人一人を感化させる品格と、TPOに応じた**服装・言動**を
- 基本的な礼儀作法**をしつけながら、子供が出入りできる職員室に
- ふれあいから得た「子供や同僚のよさ」を語り合い、**和やかな雰囲気**の職員室に
- 同僚の声に真摯に耳を傾け、**向上心**あふれる職員に
- 報告・連絡・相談〔**ホウレンソウ**〕の迅速、且つ的確な実行を
- 「打ち合わせ」を効果的に行い、**共通行動**を確実に実行する職員室に
- 机上の整理整頓**、清潔感のある職員室に ※時間を守り、教室において笑顔で子供を迎える教師